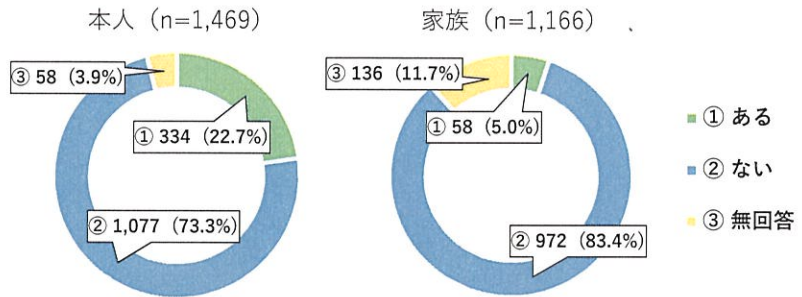


4 障害者支援施設（利用者ご本人・ご家族）

（1）施設職員の対応で不適切と感じたこと（最近又は現在）

問1(1) 施設職員の対応で不適切と感じたことの有無

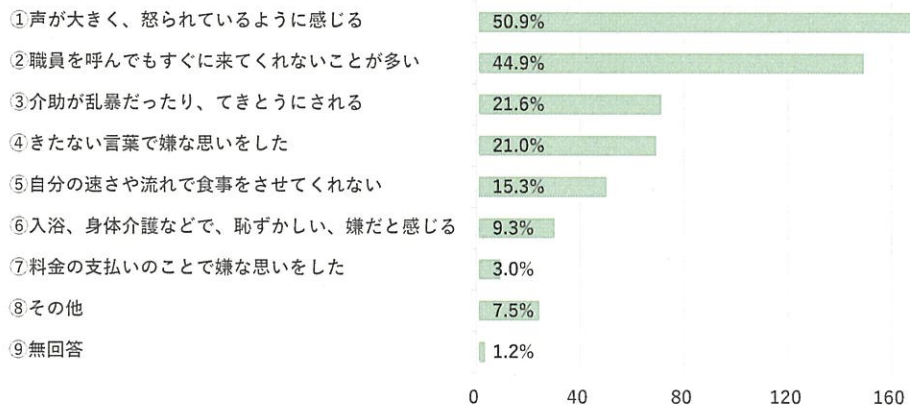
- 施設職員の対応で不適切と感じたことがあるのは、
 ご本人は23%、
 ご家族は5%
 でした。



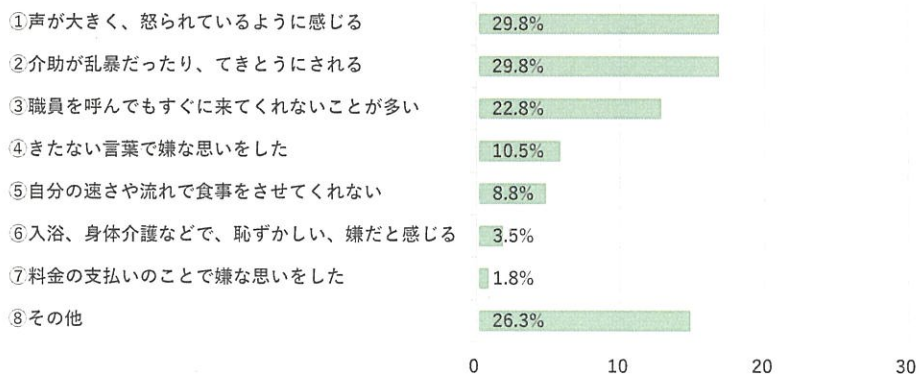
問1(2) 施設職員の対応で不適切と感じたことの内容【複数回答あり】

- 問1(1)で「ある」と答えた方のうち、
 ご本人は「声が大きく、怒られているように感じる」が最も多く51%、
 ご家族は「声が大きく、怒られているように感じる」「介助が乱暴だったり、
 てきとうにされる」が最も多く30%
 でした。

本人 (n= 334)



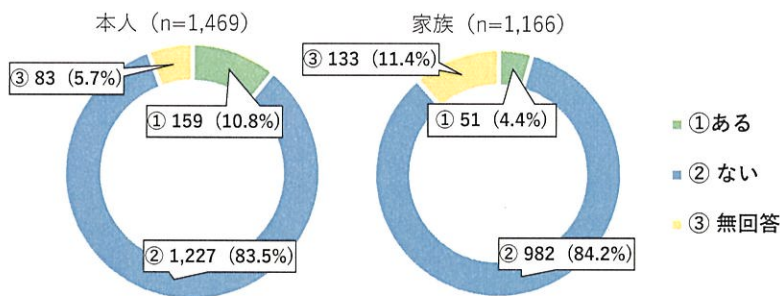
家族 (n=58)



(2) 施設職員から不適切な対応をされたこと (最近又は現在)

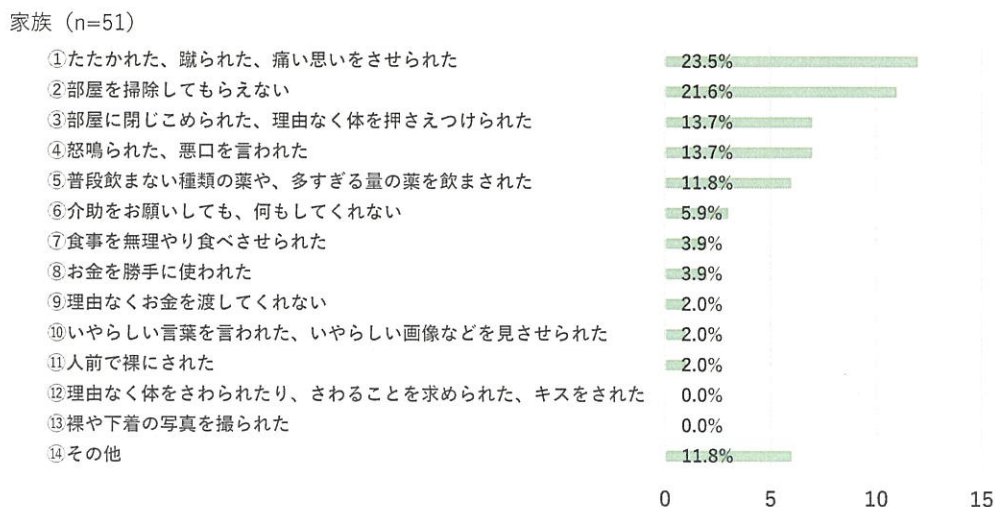
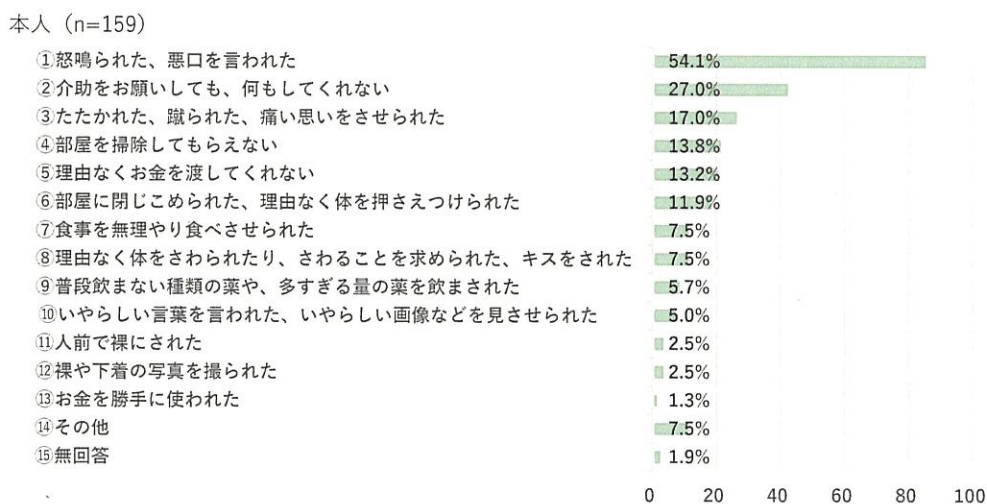
問2(1) 施設職員から不適切な対応をされたことの有無

○ これまでにご本人が施設職員から不適切な対応をされたことがあったのは、
 ご本人が11%、
 ご家族が4%
 でした。



問2(2) 施設職員からされた不適切な対応の内容【複数回答あり】

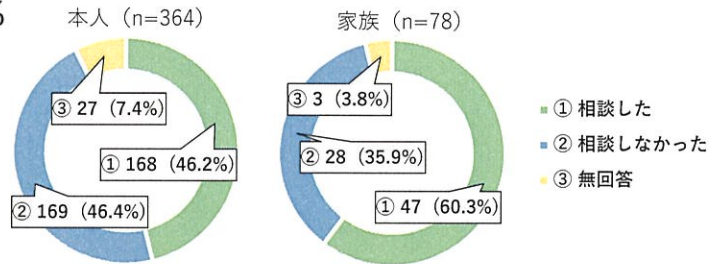
○ 問2(1)で「ある」と答えた方のうち、
 ご本人は「怒鳴られた、悪口を言われた」が最も多く54%、
 ご家族は「たたかれた、蹴られた、痛い思いをさせられた」が最も多く24%
 でした。



(3) 施設職員からされたことに関する相談の状況

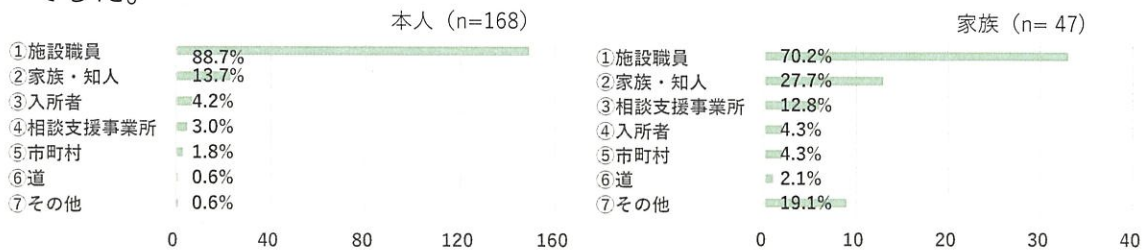
問3(1) 相談の有無

- 問1又は問2で「ある」と回答した方のうち、
- **ご本人で相談したのは46%、ご家族で相談したのは60%** でした。



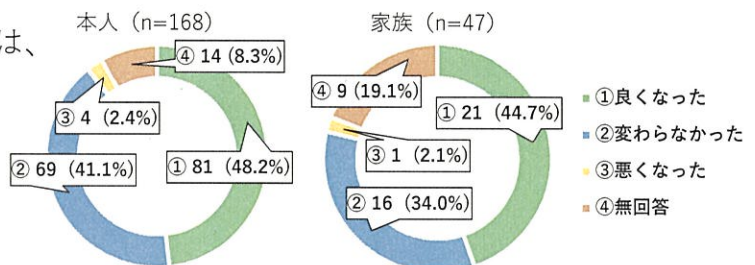
問3(2)a 相談先【複数回答あり】

- 問3(1)で「相談した」と回答した方のうち、
ご本人は「施設職員」が最も多く89%、ご家族も「施設職員」が最も多く70% でした。



問3(2)b 相談した結果

- 相談した結果良くなったのは、
ご本人は48%、ご家族は45% でした。



問3(3) 相談しなかった理由【複数回答あり】

- 問3(1)で「相談しなかった」と回答した方のうち、
ご本人は「誰に相談していいかわからなかった」が最も多く41%、ご家族は「相談したことで嫌な思いをする恐れがある」が最も多く46% でした。

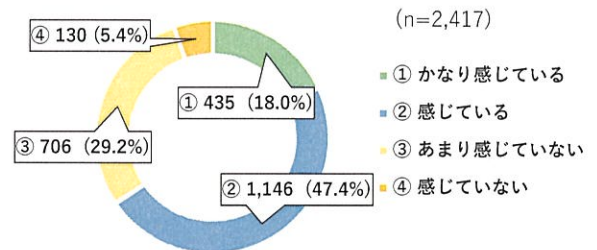


5 障害者支援施設（施設職員）

（1）職場環境について

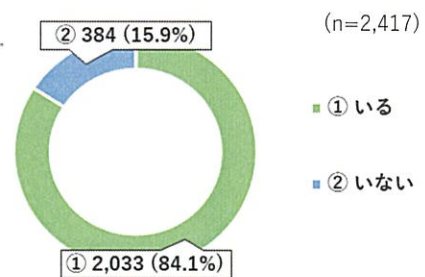
問2(1) 業務負担

- 65%の職員が業務を負担に感じています。



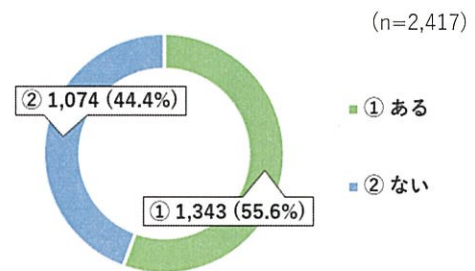
問2(2) 相談・適切なアドバイス

- 84%の職員に仕事上で困った際に相談できる相手がいます。



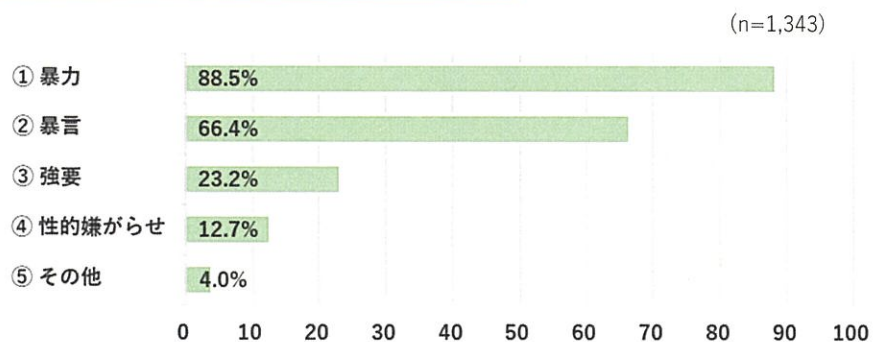
問2(3) クライアントハラスメントの状況

- 56%の職員が何かしらのクライアントハラスメントを受けたことがあると感じています。



問2(4) クライアントハラスメントの内容【複数回答あり】

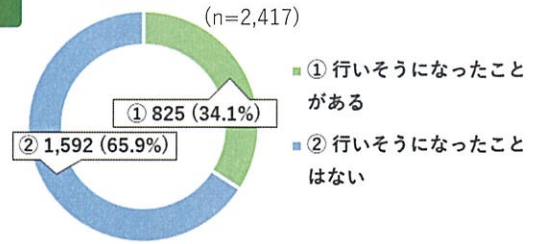
- 暴力が89%
暴言が66%
でした。



(2) 障がい者虐待について

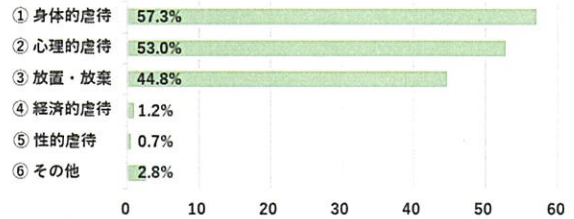
問4(1) 虐待行為等を行いそうになったことの有無

- 行いそうになったことがある職員は34%、行いそうになったことはない職員は66%でした。



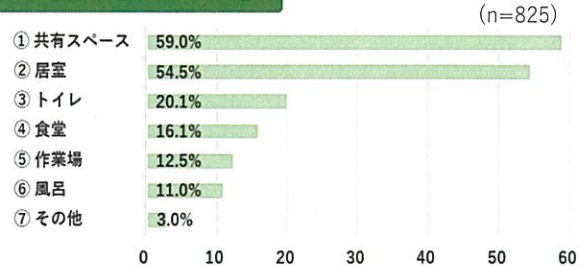
問4(2)ア 行いそうになった虐待行為等の内容【複数回答あり】

- 「身体的虐待」が57%、「心理的虐待」が53%でした。



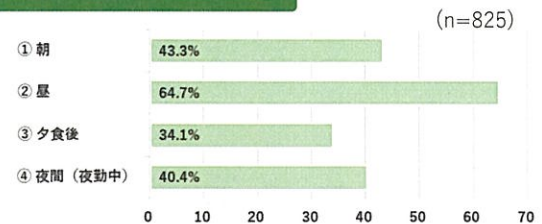
問4(2)オ 虐待行為等を行いそうになった場所【複数回答あり】

- 「共有スペース」が最も多く59%、「居室」が55%でした。



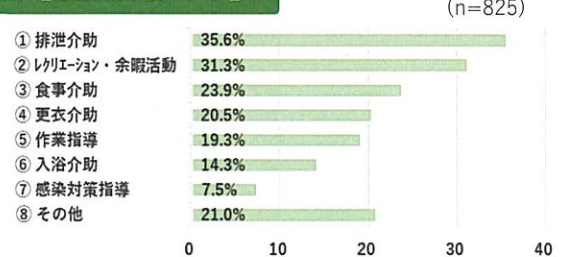
問4(2)カ 虐待行為等を行いそうになった時間帯【複数回答あり】

- 「昼」が最も多く65%でした。



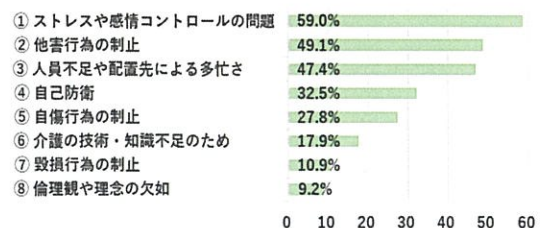
問4(2)キ 虐待行為等を行いそうになった場面【複数回答あり】

- 「排泄介助」が最も多く36%でした。



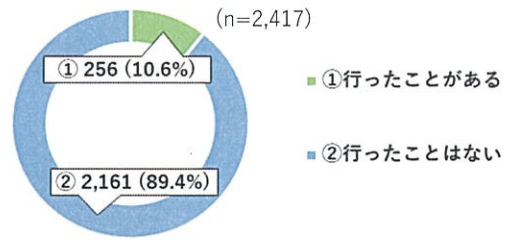
問4(2)ク 虐待行為等を行いそうになったきっかけ・要因【複数回答あり】

- 「ストレスや感情コントロールの問題」が最も多く59%でした。また、「他害行為の制止」、「人員不足や配置先による多忙さ」で半数近い回答率でした。



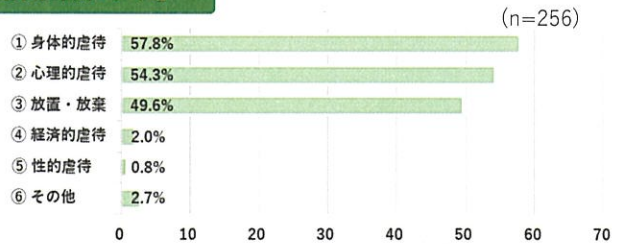
問4(3) 虐待行為等を行ったことの有無

- 行ったことがある職員は11%、
行ったことはない職員は89%
でした。



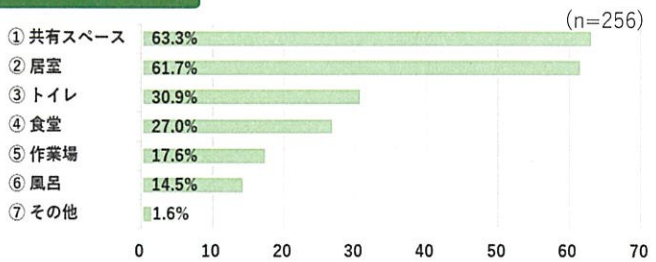
問4(3)ア 行った虐待行為等の内容【複数回答あり】

- 「身体的虐待」が58%
「心理的虐待」が54%
でした。



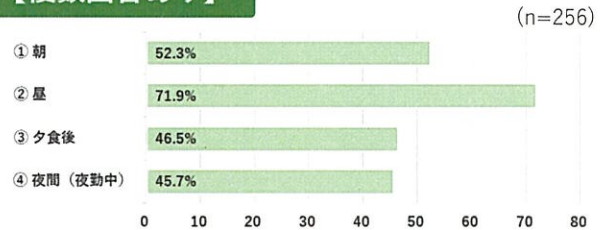
問4(4)オ 虐待行為等を行った場所【複数回答あり】

- 「共有スペース」が最も多く
63%でした。
また、僅かな差で「居室」が
62%でした。



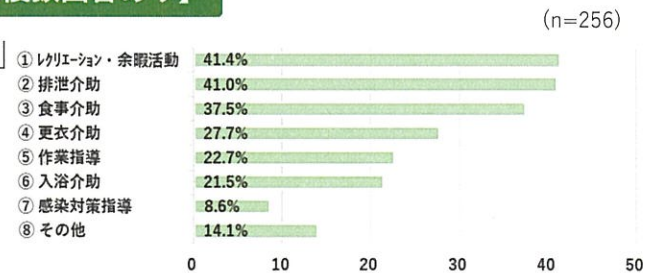
問4(4)カ 虐待行為等を行った時間帯【複数回答あり】

- 「昼」が最も多く72%
でした。



問4(4)キ 虐待行為等を行った場面【複数回答あり】

- 「レクリエーション・余暇活動」
が最も多く41%でした。



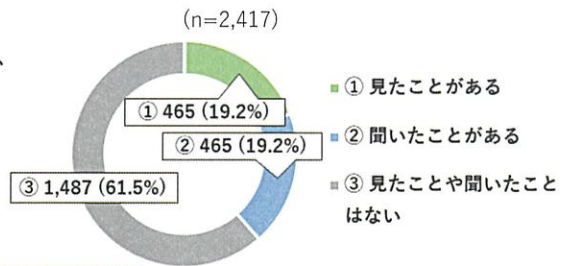
問4(4)ク 虐待行為等を行ったきっかけ・要因【複数回答あり】

- 「ストレスや感情コントロールの問題」が最も多く61%
でした。
また、「他害行為の制止」、「人員不足や配置先による多忙さ」で
半数を超えています。



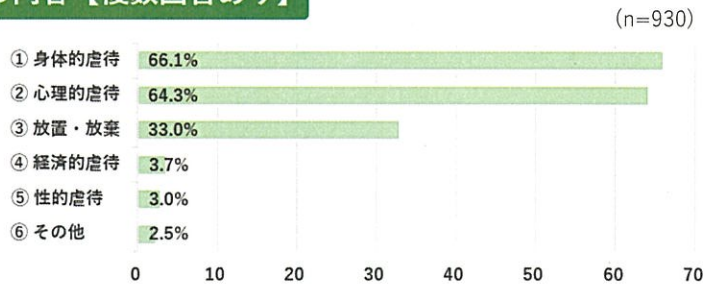
問4(5) 虐待行為等を見聞きしたことの有無

○ 「見聞きしたことがある職員」は38%、「見聞きしたことはない職員」は62%でした。



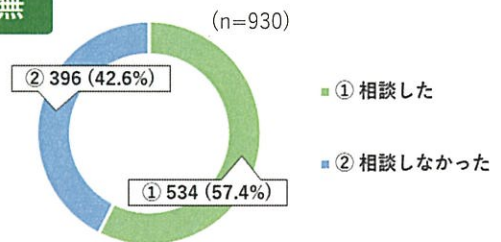
問4(6)ア 見聞きした虐待行為等の内容【複数回答あり】

○ 「身体的虐待」が66%、「心理的虐待」が64%でした。



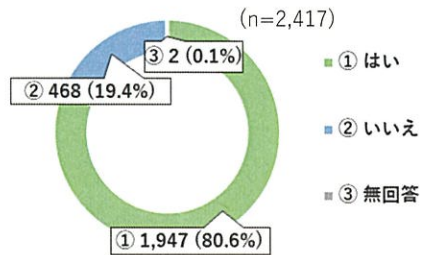
問4(6)ケ 見聞きした虐待行為等に関する相談の有無

○ 相談した職員が57%、相談しなかった職員が43%でした。



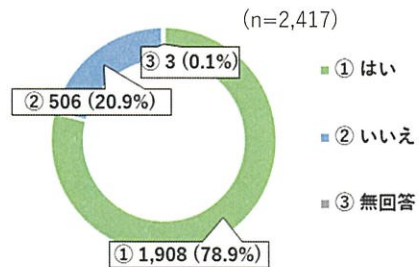
問4(7) 虐待防止マニュアル活用状況

○ 81%が活用しています。



問4(8) 虐待防止チェックリスト活用状況

○ 79%が活用しています。



問4(9) 虐待行為等発生（再発）防止に有効と考える対策【複数回答あり】

○ 「相談しやすい体制」が最も多く69%でした。また、これ以外でも多くの項目で50~60%台となっています。

